

事業名	分収造林事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		分収造林事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S42	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	整備が困難な市有林について、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターとの分収造林契約により、森林の保護を目的として森林整備を実施する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	分収林特別措置法の規定に基づき、造林地所有者が土地を提供し、造林者が植栽、保育及び管理の費用負担を行い、適正な森林の造成を目的とする。
-------------------------	---

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	令和5年度は群馬県桐生市高戸口の森林管理のための歩道の新設及び立木の生物害防除のための剥皮被害対策を実施した。 分収造林事業（市有林高戸口）歩道新設業務委託 分収造林事業（市有林高戸口）生物害防除業務委託
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
分収契約による事業件数	件	1.0	2.0	2.0
事業費計	千円	944	950	0
一般財源	千円	9	9	
特定財源（国・県・他）	千円	935	941	
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市所有の山林において森林整備センターの森林施業計画によって撫育管理することで、事業は着実に進められ、森林整備の促進に繋がっている。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

クマによる皮はぎ被害が増加しているため、損害を抑えるため、効果的な獣害対策の導入を検討する必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	林道維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		林道維持管理事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H21	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	林道の維持管理、修繕を行うない林業従事者の健全かつ効率的な森林経営につなげるとともに、一般利用者の通行の安全を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	林道の安全な通行を維持し、森林整備の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	林道の維持管理 舗装修繕工事2路線、路肩修繕工事1路線、法面修繕工事 1 路線（2箇所）、路面（防護柵含む）等修繕 3 路線（6箇 所）、除草 7 路線、土砂撤去 2 路線、倒木等撤去 1 路線、清 掃1路線、除雪 1 路線	活動指標	単位	R3	R4	R5
		林道修繕件数	路線	4	8	5
		事業費計	千円	14,523	13,702	20,330
		一般財源	千円	14,523	13,702	20,330
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	林道で発生する法面崩落や土砂流失の修繕、通行の支障となる 支障木の伐採、路肩の除草・除雪を迅速に行うことで、林業作業 の支障を排除と林道の安全な通行を確保することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

林道の利用者から、崩れた路肩や傷んだ路面への修繕依頼が寄せられ、管理責任において林道路肩崩落の修繕や、土砂撤去等をより迅速に行うことで通行者の安全を確保する必要がある。近年の林業を取り巻く厳しい状況の中、森林の持つ多面的機能が発揮できるよう、その生産基盤の整備が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
林道の修繕費の増加に対応するため、森林環境譲与税の活用を検討する。	

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	林道施設長寿命化事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R2	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	今後老朽化する林道施設（橋梁、トンネル）の増大に対応するため予防的な修繕等を計画的に行い林道施設の長寿命化を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	林道施設（橋梁・トンネル）の安全性、信頼性が確保される。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		工事点検実施割合（実施数/施設数）	%	2.4	7.3	2.4	2.4	2.4

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	林道施設長寿命化計画を基に施設の定期点検、実施設計及び修繕工事等を実施した。林道橋定期点検、林道トンネル定期点検、西沢橋長寿命化補修工事に伴う実施設計	活動指標	単位	R3	R4	R5
		長寿命化修繕工事実施施設	箇所	1	2	0
		事業費計	千円	19,470	34,474	19,448
		一般財源	千円	61	613	5,984
		特定財源（国・県・他）	千円	19,409	33,861	13,464
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	今後老朽化する林道施設（橋梁・トンネル）の増大に対応するため、長寿命化計画をもとに、従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図ることで、通行止めになるような工事の抑制や経費の縮減が見込める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		工事点検実施割合（実施数/施設数）	%	2.4	7.3	2.4	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
		指標全体	効果が下がった	費用	費用は下がった	
					費用の増減無し	
					費用が増加した	○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和元年度に策定した林道施設長寿命化計画を基に林道施設の計画的な修繕を行っており、令和5年度の実績は計画通りに実施した。今後も、計画のそって実施予定である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	間伐促進支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-④	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		間伐促進支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H18	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市の人工林において、標準伐期齢に達していながらも間伐が不十分な森林が増加し、森林の荒廃と森林の持つ多面的機能が損なわれつつあるため、佐野市森林整備計画の対象となっている森林において、国または県の造林事業補助金の交付の決定を受けた間伐に対して、1 haあたり10,000円の補助金を交付する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市内森林の間伐を促進し、健全で木材生産機能の高い森林を創出する	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		間伐面積	ha	609	270	345	420	495

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	間伐推進事業補助金交付申請受理 申請内を審査 間伐推進事業補助金交付決定	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助金交付による間伐面積	ha	43	24	29
		事業費計	千円	422	237	291
		一般財源	千円	422	237	291
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	森林経営計画に基づく間伐を推進するため、補助金を交付することで、間伐面積の増加と間伐が不十分な森林の整備に繋がっている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		間伐面積	ha	234	285	294	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

人工林における材価の低迷や搬出コストの高騰、また獣害被害の増加により森林の適正な管理の支障となっている。森林管理制度の運用と森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に基づく、林業支援の充実が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	森林環境譲与税を活用し、林道改修や獣害対策、施業に係る機材購入への補助を充実させ、林業の活性化を図る。

事業名	林業者育成支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-④	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	林業の質の高い林業従事者の育成と林業従事者の安全意識の向上を目標に、林業従事者に必要な安全教育及び技能講習の受講料、労働安全装備品または機械器具の整備について助成する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	林業の質の高い林業従事者の育成と林業従事者の安全意識の向上、労働安全装備品、機械器具の整備について助成し、労働条件の向上を図り、林業従事者の減少を防ぐ。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
経営計画策定面積	ha	5,192	5,242	5,292	5,342	5,392
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	補助交付申請書受領及び交付決定 安全装備品 8件	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助金申請金額	千円			889
		事業費計	千円	0	0	889
		一般財源	千円			0
		特定財源（国・県・他）	千円			889
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	事業所における安全装備品の更新や、夏場の熱中症対策など従事者の安全対策の向上により、施業量の拡大に結びついている。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
経営計画策定面積	ha	5,210	4,242	4,518	値が大きいほど良い	効果が上がった
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

林業従事者の減少や担い手不足により労働環境や林業事業体の体制強化が求められている。林業関係者への周知を十分に行うとともに、支援内容については林業者からの意見を反映し、より効果的な支援ができるよう要綱内容の見直しを行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	森林環境譲与税を活用した事業であることから、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の使途に即した、実現可能な取り組みを県や林業団体等と協議、意見交換等を行い、森林環境譲与税の活用を充実させる。

事業名	林道作原沢入線改良事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑥	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農山村振興課		林道作原沢入線改良事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R2	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	国庫補助金（農山漁村地域整備交付金）や緊急自然災害防止対策事業債を活用し、林道作原沢入線の改良工事を行うことで、林道の安全性向上を図る。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	林道作原沢入線の法面改良工事を行うことで、法面の崩落や落石を防ぎ、林道の安全性向上を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
工事延長（累積）	m	0	36	79	104	125

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	林道作原沢入線法面改良工事に伴う測量及び実施設計業務委託 8,888,000円 法面改良工事 現年度分 R6.1.25～R6.3.21 8,635,000円 繰越分 R5.4.3～R5.9.21 19.6m 363.4㎡ 8,968,300円 林道作原沢入線法面改良工事に伴う排土工事 748,000円
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改良工事数	箇所	0	1	2
事業費計	千円	0	8,944	27,239
一般財源	千円		144	9,739
特定財源（国・県・他）	千円		8,800	17,500
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	小規模な崩落が発生している区間について5工区に分け、法面改良工事を進めることで、大規模な法面崩落を回避することができ、通行上の安全確保に繋がっている。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
工事延長（累積）	m	0	36	79	値が大きいくほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

シカ等の有害鳥獣による法面被害も多くなっていることから、従来の簡易法枠工法に加え、被害を防ぐ工法を追加するなど効果的な工事手法の採用と、要工事区間が長いことから、工事規模や期間、手法を調整し工事費の軽減と被害状況に応じた効果的な工事を行う。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	工事箇所、工事方法、設計、予算等について単年度ごとに栃木県との協議により工事を進めている。農山漁村地域整備推進交付金を活用し、改良工事計画に沿って安全対策を講じる。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	県営林道事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		県営林道事業費		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S62	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	3	中山間地域の活性化						
				県営林道事業実施要領 県営林道分担金条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	県の管理している林道の整備事業について、当該市町が県営林道事業分担金条例に基づき、事業費の10～50%を負担する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県が実施する林道工事に対する負担金。県工事が行われることによって、市内森林の林道の安全性が担保され、林業振興の維持向上に資するもの。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	県管理林道「大荷場木浦沢線」の工事に伴う負担金の支出。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		改修等実施箇所	箇所	1	0	1
		事業費計	千円	2,710	0	2,742
		一般財源	千円	2,710	0	2,742
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	林道通行の支障となる箇所の修繕により、林業の停滞等を防ぐことができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市内の木材伐採面積	ha	343.0	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
費用	費用は下がった					
	費用の増減無し					
	費用が増加した	○				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

ゲリラ豪雨等により土砂崩落等が増加しており、林業の健全な運営のため引き続き、事業費への負担を継続する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	佐野市林業振興会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		佐野市林業振興会支援事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	佐野市補助金等交付規則	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	会員の林業経営等の合理化及びその経済的社会的地位の向上及び地域林業の振興を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	会員の各種視察・研修会等への積極的な参加を促進し、後継者の育成を図る。
-------------------------	-------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・チェーンソーカーピング、クラフト教室を開催した。 ・県南地区林業振興協会の研修会に参加した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		団体の研修会等の活動数	回	2	2	1
		事業費計	千円	75	75	75
		一般財源	千円	75	75	75
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域林業の担い手となる個人、事業者からなる団体で、林業経営の手法や林業の活性化を図るための支援を講じ、林業経営における木材生産の安定化に繋がっている。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	343.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		○		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

豪雨等により森林内の林道被害や、鹿の食害による植栽後の幼木の全滅や熊の皮剥ぎによる立ち枯れが増大しており、再造林を促す対応が必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 森林環境譲与税の活用し、林業経営の促進を図る。
--	-------------------------------------

事業名	市有林管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	5-④	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農山村振興課		市有林管理事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	H16	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市有林の管理 市有林面積 288.28ha(13箇所) ・森林保険の契約更新、間伐等森林管理業務、市有林巡視業務委託、森林組合賦課金の納付
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公益的な多面的機能を備えた健全な市有林の育成。
-------------------------	-------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・森林保険の契約更新 ・市有林巡視業務委託 ・森林組合賦課金の納付	活動指標	単位	R3	R4	R5
		巡視等管理業務面積	ha	23	68	6
		事業費計	千円	3,469	3,476	3,918
		一般財源	千円	3,469	3,476	3,918
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	造林地の撫育状況の確認、自然災害や獣害の被害状況を把握し、森林の保全管理することで効率的な伐採等の森林整備に結びついている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

鹿、熊による立木への被害が増加している。獣害被害の防衛と被害後の対応策を講じ、被害の減少につなげる。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	松くい虫防除事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		松くい虫防除事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	S53	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						
				森林病害虫等防除法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	森林病虫害等防除法に基づき、本市において発生している松くい虫の被害対策として、伐倒駆除・樹幹注入を実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	松くい虫被害の拡大を防止し、健全で木材生産性の高い森林が創出する。
-------------------------	-----------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・実施森林 唐沢山（対象面積：10本）衛生伐 愛宕山（対象面積：95㎡）樹幹注入
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
防除対象松林面積	ha	112	112	112
事業費計	千円	1,968	2,210	1,824
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円	1,968	2,210	1,824
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	森林の有する多面的機能の保全を図ることを目的としているため、被害を減少させることにより、その保全確保と森林整備に結びつくものである。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現在被害は横ばい状態であるが、被害防除を実施しなければ全滅の恐れもある。公益的機能維持増進の重要性が認知されてきている。法令等の規定により高度公益機能森林及び地区保全森林を設定し、守るべき松林を絞り込むことにより、より効果的かつ限定的に防除対策を継続する。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	森林経営管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	森林経営管理制度、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律	事業期間	開始年度	H31	実施方法	一部委託
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	森林経営管理法に基づき森林資源の適切な管理を推進する。主な事業は、適切な管理がなされていない森林の所有者に対して意向調査を実施し、森林所有者が所有する森林について市への経営管理委託を希望した場合には、経営管理委託の手続きを行う。対象森林の状況により、民間事業者への再委託や市による直接管理を行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健全で木材生産機能の高い森林の創出
-------------------------	-------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	経営管理権集積計画作成業務委託の実施 (作成面積80.32ha) 経営管理権集積計画策定森林の間伐業務委託の実施 (間伐面積11.78 ha) 林班等を管理するための森林管理システムの保守業務
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
意向調査の実施	人	30	28	0
集積計画策定	ha	37	45	80
森林経営計画面積	ha	5,210	4,242	4,518
事業費計	千円	18,258	19,576	26,099
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円	18,258	19,576	26,099
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市への経営管理委託の希望があった場合には、市が森林の経営管理の委託を受け間伐等を行い、森林の適切な管理につなげる。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	
効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

森林経営管理法に基づく業務が多様であり、意向調査や現地調査、計画策定などの業務に時間を要し、効率的な運用が必要。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 林業に精通した専門員等の雇用が必要。
--	--------------------------------

事業名	森林整備推進支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-④	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	森林整備を円滑に進めるため、鳥獣被害に対する支援及び施業に必要な林道等の整備、改修・補修に対し、森林環境譲与税を活用し、支援する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	施業を促進させ、市内私有林の適正な管理を推進する
-------------------------	--------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
経営計画策定面積	ha	5,192	5,242	5,292	5,342	5,392
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	森林整備推進支援補助金交付要綱を策定	活動指標	単位	R3	R4	R5
		補助金申請金額	円			0
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円			0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	獣害対策に係る支援を行うことで、森林整備の停滞を防ぐとともに、森林保全策を講じることで、将来の木材生産量の確保に結びつく。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
経営計画策定面積	ha	5,210	4,242	4,518	値が大きいほど良い	効果が上がった
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

森林整備推進支援補助金交付要綱を策定後、周知期間が取れなかったため、申請がなかった。林業関係者への周知を十分に行うとともに、支援内容については林業者からの意見を反映し、より効果的な支援ができるよう要綱内容の見直しを行う。豪雨等により森林内の林道被害や、鹿の食害による植栽後の幼木の全滅や熊の皮剥ぎによる立ち枯れが増大しており、被害森林の再整備への支援を要する。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 森林環境譲与税を活用した事業であることから、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の使途に即した、実現可能な取り組みを県や林業団体等と協議、意見交換等を行い、森林環境譲与税の活用を充実させる。
--	---

事業名	森林路網整備事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		森林路網整備事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	栃木県森林路網整備事業費補助金交付要領		開始年度	H23	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	林業の効率的経営や森林の適正な管理に不可欠な路網の整備を推進するため、国庫補助の対象とならない林道の整備を県単補助を受け実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	適切な森林整備や効率的な林業経営、及び山村地域の生活改善に資するため。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		改修箇所	箇所	2	2	2	2	2

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	林道作原沢入線の法面改良工事を実施 法面改良工事 L = 20.1m、329.4㎡	活動指標	単位	R3	R4	R5
		整備実施件数	件	1	2	1
		事業費計	千円	9,558	10,895	8,283
		一般財源	千円	1,270	126	98
		特定財源（国・県・他）	千円	8,288	10,769	8,185
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	改修や災害復旧工事が必要な林道において、適宜修繕工事をを行うことで、林業経営の停滞を防ぐことができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		改修箇所	箇所	2	3	1	値が小さいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年の環境変化に起因するゲリラ豪雨等の局地的な大雨の発生により、突発的な落石や崩落が生じる恐れがある。林道作原沢入線においては、引き続き計画的に法面の保護対策を実施し、利用者の安全対策を実施する。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	渡良瀬川流域森林林業活性化センター参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農山村振興課		渡良瀬川流域森林林業活性化センター参画事業		款	6	新規or継続	継続事業
	係	森林整備係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	123	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	渡良瀬川流域森林林業活性化センター規約	事業期間	開始年度	H3	実施方法	直営
	政策	2	地域資源を活かしたまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	3	中山間地域の活性化						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	森林整備、木材生産の低コスト化や木材流通・加工の合理化等を推進し、多様な森林の整備や森林の公益的機能の維持増進並びに地域材産地の形成と持続可能な森林・林業・林産業の振興を図ることを目的として、目的達成するための事業を実施している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健全で木材生産性の高い森林が創出されている。
-------------------------	------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市内の木材伐採面積	ha	675	300	386	472	558

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	会議、スマート林業研修会、展示会	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議等出席回数	回	0	0	1
		林業技術研修の開催回数	回	1	1	1
		事業費計	千円	71	71	71
		一般財源	千円	71	71	71
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	新たな林業技術や経営等を事業者習得することで、木材生産性や労働上の安全対策の向上に繋がっている。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市内の木材伐採面積	ha	342.6	312.0	330.2	値が大きいくらい	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

地球温暖化、環境税導入等で森林の持つ公益的機能が大切な役割を果たしていることが知れてきて、森林整備の重要性が注目されている。多様な森林の整備や森林の公益的機能の維持増進を図るため、団体の活動への協力及び積極的な意見交換を行い、会の活動をととして林業・林産業の振興を図る。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------